

「新聞販売の明日」  
フォーラム 2011  
新聞販売店は生き続は

松井本部長あいさつ

紙の媒体を扱う販売店も生き続けなければならない

本日は、ご来賓として  
各発行本社局長さまは  
じめ幹部の皆さま、そし

て日販協全国本部より坂本会長はじめ役員の皆さま、その他多数のご来賓と題しフォーラムを開催いたしました。

只一人の故、その

議員、高市早苗先生のおて生き続けてゆくのか、

巻く環境は漸次、悪化の傾向にあると言わざるを得ない。支那の支那領のもと、本邦をご覧のように近畿19支

やはり紙の媒体あって一定以上はすすんだもの  
こそその新聞であり、新聞の、近ごろ停滞気味の販

話の中にもあるとは存じますが、もしこれが撤廃と、3人のパネリストの



井本部長

ラムが開催できました  
ことを皆さまに感謝申  
得ません。  
そのようなおり発行本

とて、厳しい経営を迫られ、売却しております。

ますと、テリトリーがな  
ルディスカッションを行  
います。



つする

さて、私ども日販協近の先を見越し、電子媒体へ進出される社が目立

また、日ごろの仕事の  
中では意識することの少

問われない価格競争に陥る可能性がります。

表1

だがしかし、電子媒体の発展が、未だ所望の場所におさまって終

題は、本日、基調講演を  
決くお引き受けて頂きま

る体力が今のわれわれ  
にあるでしょうか。  
本日は多数のご参加  
ごさいます。

1

中馬清福氏をお招きし、  
社が成り立とうはずが

長引く不況、無読層の増した奈良県選出の衆議院

オオオオに　いたにし　いまいたうこていす

| 今月の紙面                                 |      |
|---------------------------------------|------|
| 2011年「新聞販売の明日」<br>基調 衆院議員 高市早苗氏<br>講演 | 1面   |
| パネル討論<br>関西五日会幹事、飯塚局長挨拶               | 2～3面 |
| 近畿・理事会                                | 3面   |
| 読売セナター田辺・伊藤代表訪問                       | 4面   |

返り高き、説明もなしに、さらには詳しくは酒税・税関にも出れ、「新聞販売業課」にも大きな影響を及ぼすと思う。単に「税率ならは税率を」と欲くこれにするべきが、複数税率導入の可否など皆さん（の）声を国政に届けて欲しいと呼

常化の推進」、和田氏が

「時論では丹上氏が「正事務を務めた。幸事務長がコーディネーターを務めた。」「

今日のパネル討論をそれぞれが現地に持ち帰り、共に考え、共に実行していただくことを願ってい

基調講演に移り、衆議院議員の高田早苗氏が「がんばろう！ 新開販売」と題し「調換・高田氏は日販協と共に再販、特殊指定の存続に努めてきた経緯を詳細に述べた上で、（以下）調換と高田氏（本頁）」と題する演説を述べた。

チームを立ちあげ自ら禁に就任。あたちに独禁止法改正案の議員立に着手したため公取委6月に結論の見合わせ

び掛けた(2面掲載)  
パネル討論は「新聞販  
売が生き続けるために」  
法をテーマに大阪府北部・  
富田二日会、丹上勝氏▽  
読売センター河内長野代  
を

「無断読者対策」、松澤  
氏が「現地会の運営」な  
ど3分野に分け、それぞ  
れが体験しているビジネ  
スモデルなどについて報  
告した。

オプザバーとして加  
わった支部長は、京都府  
北部支部長・三宅久和▽  
お互いに共有できたと考  
え、

来賓の挨拶で、関西五  
日会幹事の日本経済新聞  
社大阪本社・飯塚英之販  
売局長が「本日のフォー  
ラムでは、新聞販売の現  
場が抱える問題点と将来  
へ向けての提言について  
お互いに共有できたと考  
え、

自らの活動範囲を大幅に拡大し、  
 新聞の近きチラシ問題  
 などを語った。

特に高市氏は、平成17  
 年11月公正取引委員会の  
 特殊指定見直し表明を受け  
 て翌18年4月、自民党  
 議員7人でプロジェクト



傾ける会員たち

阪神支部長・松本泰明▽  
大阪市連合支部長・阪田  
充▽和歌山支部長・富  
岡▽大阪府南部支部長・  
河崎保▽滋賀県支部長・  
八軒副夫の6氏で、パネ  
リトの発言に耳を傾け、  
一通りの報告が終わった

「え」と評価することども  
に「正常化への取り組み  
は販売店にとって、将来の  
ために引き続き拡大させる  
ようご協力をお願いした  
い」と講評して挨拶とし  
た。(3面掲載)

「新聞は生き残れるか」  
と題しフォーラムを開催



熱心に耳を

あと(組閣)について異論  
ない。(2・3面掲載)

パネリ討論のまとめに  
あたる鶴岡専務理事は「バ  
ネリストの方々にお聞き  
すると、まだまだ完成は  
していない。これからど  
んどん続けていかなけれ  
ば販売店は生き続けられ  
ない」と締めくくり閉  
会した。

「販売店が未長生き続  
けるために会員全員が一  
日も早く完全正常化を達  
成させ、新しいビジネス  
モデルを構築しながら、  
業界の未来を切り開いて  
いこう」と締めくくり閉  
会した。

最後に坂本常吉社長

「それ以降も新聞を取り巻く環境は漸次、悪化の傾向にあると言わざるを得ません。」

「そのようなおり発行本社におかれましては時代の先を見越して、電子媒体へ進出される社が目立っていませんか。」

「やはり紙の媒体あこそその新聞であり、社社であらうと存じます」といことは、新聞き残るためには紙の体を扱う販売店も生きなければならぬといこと

加、折込の減少、そして一定以上はすすんだものの、近ごろ停滯気味の販売正常化などの理由によつて、厳しい経営を迫られ続けております。

また、日ごろの仕事の中で意識することの少可能性にあります。

議員、高市早苗先生のお話の中にもあるとは存じますが、もしこれが撤廃されるようなことになりまふと、テリトリがなくなり同系統、他系統を問わない価格競争に陥る可能性があります。

に生き続けてゆくのか、高市先生の基調講演のあと、3人のパネリストの方々に登録したきバナエデスカッションを行なう予定です。

基調講演 パネルディスカッション(予定) 午後

てまいりました。  
だがしかし、電子媒体のみで新聞が、また新聞社が成り立とうはずが、ことにならないでし  
か。  
ですがその販売店長引く不況、無読層

は、  
の増  
よう  
に再  
題は  
快く  
した  
の増  
は、  
の増  
よう  
に再  
題は  
快く  
した  
の増



和 (神戶)

支那 委員 ルー とど 来て いた。 いた。

産経  
亡させ  
ある。  
す直し  
ひ読者  
にける  
を挙げ  
して来

# 達成し 閉会の

協新  
松井  
理事会

事業・  
務局。  
・福田  
席。

元 鹿終  
九 鹿終  
八 鹿終  
七 鹿終  
六 鹿終  
五 鹿終  
四 鹿終  
三 鹿終  
二 鹿終  
一 鹿終

和 (神戶)

100

1997年 第1期 21

\_\_\_\_\_

1. *What is the main purpose of the study?*

10

\_\_\_\_\_

L

1. 世界に誇る戸別配給制度を堅持し  
わが国の政治・経済・文化の発展  
と民主主義の擁護に貢献する
2. 新聞の持つ公器性に基づき公正な  
販売を期する
3. 新聞販売店共通の目的である経営  
の健全化を追求する

# 日販協近畿報

社団法人  
日本新聞販売協会  
近畿地区本部  
大阪府北区梅田2-5-4  
千代田ビル西館10階  
電話 06(6345)0760  
FAX 06(6345)3185  
発行人 松井 昭明  
編集人 藤田 明

## 近畿・理事会

### 折込スポンサーの開発を 18日 新年賀詞交歓会開催



あいさつする松井本部長

日本新聞販売協会近畿地区本部(松井憲昭本部長)の平成23年度第8回理事会は12月6日、大阪・北区の「ガーデンシティクラブ大阪・会議室」で44人が出席して開かれた。理事は西川修専務理事を議長に選び進められ、まず松井本部長が11月21

日開かれた全国本部の第2回理事会(別項)の内容について詳しく説明。その中で松井本部長は「消費税について来年早々に大綱が決まるので、日販協政治連盟は本格的に動いている」と述べるとともに「同月25日、谷垣首相・自民党総裁、前原誠司・民主党政策調査会長とそれぞれ面談し消費税問題などについて話し合ってきた」と報告した。これを受けてさらに渡邊辰幸専務理事は「国会議員の方々は我々の訴えを真摯に受けとめ、真剣に取り組んでいただいている」と政治連盟の活動に理解を求めた。

## 全国・理事会 消費税対策、年内がヤマ場 「休刊日復元」を決意表明

社団法人日本新聞販売協会(坂本収会長)の平成23年度第2回理事会は11月21日、東京・一ツ橋の如会館2階「スター

ホール」で開かれた。理事の「消費税減免へ向けた取り組みについて」で、坂本会長は「来年1月招集の通常国会で増税の如全体の利益となる」など所感を述べられたとの報告があった。続いて松井本部長がいさげに立ち、10月19日開いたフォーラムについて「各社販売局長、室長ら販売幹部の方々ははじめ担当社員に至るまで多数ご出席いただき誠にありがとうございました。五日会幹事の飯塚英之▽朝日新聞大阪本社販売局長・吉良信明▽産経新聞大阪本社販売局長・扇谷典典▽京都新聞COM販売戦略推進室長・市平晴規▽毎日新聞大阪本社販売局長・千原成記▽読売新聞大阪本社取締役販売局長・村田和廣▽神戸新聞社執行役員販売局長・岡野佳博▽日本新聞協会経営業務部長・佐塚正樹。

この3月の東日本大震災は、はからず社会として我々新聞業界に、新聞のその本質的価値、社会的重きを要する、あらためて認識させることとなりました。さらには、人の手を通してしかなし得ない伝達力のありがたさ、すばらしさを人々に印象付けました。全国的販売店は、この伝達力すなわち戸別配達の維持、発展に日々努めています。なかば慢性的な労務事情、急激な販売競争にあって、休刊日を唯一の安息日としている販売店経営が少なくありません。一方で、固定読者の多くのお客は、今日の電子媒体の普及のなかでも、確実で丁寧な戸別配達の未長い維持を望んでおられます。そして新聞の休刊日に関しては、

千円台、三千円台の大口を超え、新聞離れが加速する」と懸念を示した。また、「すべての教養新聞を運動については、今一番問題となっているのは原稿負担の問題。全国32万の全教養新聞が属することは、新学習指導要領の方針にある「適切に活用できる環境づくりに」に沿うもの。国として原稿への支援を要望した」と説明した。坂本会長はさらに消費税問題について「それだけが日販協政治連盟の職員と連絡をとり、新聞に対する理解を求めてほしい」と改めて呼び掛けた。次に「休刊日復元に向けた決意表明(別項)」とする決意表明(別項)を採択した。提案にあたり坂本会長は「日販協として、休刊日復元の旗を降ろすつもりはない」と強調した上で、「来年の休刊日は各社それぞれで決定している。しかし、過疎地や小規模店など休刊日でない日と休日とで異なる販売店があり、適切な配慮が必要だ。来春に向けて議論を重ねていきたい。しかし並行して正常化を進めないと何よりも読者の理解が得られない」と警戒を示した。また、消費税減免に向けての国会議員と面談の報告は予定通り11月25日実施され、坂本会長らとともに近畿地区本部から松井憲昭本部長、渡邊辰幸専務理事ら3人が参加した。

## 執行部 関西五代会と懇談

### 「乱売地区41%に縮小」

「関西新聞販売正常化推進会議」を受け定期的に開かれていた関西7社販売局長会(関西7社)と、日本新聞販売協会近畿地区本部・執行部役員との定例懇談会が11月7日、大阪・北区の日本新聞協会大阪事務所で開催され、近畿地区本部は松井憲昭本部長ら11人が出席し、平成21年7月に第1回会合が開かれ今回で第9回目となる。初めに千原成記・毎日

新聞大阪本社販売局長から、9月28日に開かれた第3回推進会議で、関西7社販売局長会として報告した関西地区における正常化の取り組みと進捗状況について、改めて次のような説明があった。関西での5000を超え、近畿地区本部は全地区は全体の52%から41%に11ポイント改善された。全体としては正常化への歩みは進んでいる。ただ、乱売地

区割合が比較的高い大阪市と大阪府下をはじめ評価B・Dランク地区については早期Aランク達成を要請するなど、引き続き緩やかながら正常化を推し進めていく。また、推進会議に出席された、秋山・日本新聞協会長(朝日社)が「嵐のようだった乱売状況が雨になり、今は曇り空になった」「正常化の流れを止めないことが新聞業を交わした。

次回(第10回)定例会議は来年2月9日午後2時半から開かれる。◎出席いただいた関西五代会の方々(順不同・敬称略)▽(幹事)日本経済新聞社大阪本社販売局長・飯塚英之▽朝日新聞大阪本社販売局長・吉良信明▽産経新聞大阪本社販売局長・扇谷典典▽京都新聞COM販売戦略推進室長・市平晴規▽毎日新聞大阪本社販売局長・千原成記▽読売新聞大阪本社取締役販売局長・村田和廣▽神戸新聞社執行役員販売局長・岡野佳博▽日本新聞協会経営業務部長・佐塚正樹。

承された。議員との面談日程は、10月20日、公明党新聞関係議員懇談会(総勢31人)▽11月4日、山本一木・自民党新聞販売懇談会事務局長▽同月8日、中川雅治・参議院議員(自民)▽同月21日、高市早苗・衆議院議員(自民)▽同月25日、谷垣禎一・自民党総裁▽同日、前原誠司・民主党政策調査会長。また近く開かれる自民党新聞販売懇談会出席する。さらに坂本会長は関係者に手渡した「要望書」

かねてから理解ある声は少なくありません。無論、全国の販売店主も新聞の使命は体に染み込んでいる。選挙報道や緊急事態などやむを得ない場合に、万難を排して業務に徹していることは、業界人誰もが知るところです。私たちは、戸別配給制度の維持、発展、そして地域の現状とその将来を見据え、地域の実情や国民の休日を踏まえ、従前より多く、より合理的な休刊日設定を必要とする。さらには過疎・遠隔地、小規模店への適切な配慮がなされることをあらためて決意し、全国新聞発行本社社長、販売幹部の皆様へ要請を重ねる所存です。平成23年11月21日 社団法人日本新聞販売協会 会長 坂本 収

## 第83・84回献血キャンペーン

### 23年度 献血活動がスタート

日本新聞販売協会近畿地区本部が提唱する平成23年度「日本の献血に協力するキャンペーン」が今年11月からスタート

19日に日販協和歌山県支部が第83回キャンペーンを田辺市内で第3面に続く



田辺市内で、66人が献血

## 和歌山県紀南支部

町のオークワ・パビリオンシティ田辺店前で行われた。同支部のキャンペーンは3年ぶりの回目。事前に献血を呼び掛けるチラシ2万枚を新聞に折

この日は、朝から大雨警報の出るあいにくの天気となったが、「チラシを見て来た」と話す若者や買い物帰りの主婦たちが次々と献血会場に駆け

(200ミリリットル7人、400ミリリットル59人)から採血できた。同血液センター田辺出張所の輪玉哲治業務係長は「大雨で一時は心配したが、まずまずの成果でした」とホッと胸をなで下ろし次のように話した。

JR神戸駅前で、71人が献血

神戸市支部

第84回献血キャンペーンは神戸市支部（浜田隆義支部長）が主催し、21日、JR神戸駅北側口1階で行われた。同支部の献血は、これまでJRA宮駅南側広場で行った従業員や、その家族

が次々と訪れ、一般献血参加者も混じって列を作った。さらに支部役員らは交差点を通行人にディスプレイスーパーカブの「献血に協力せよ」と呼び掛けた。

昨年の11月24日に通算回目のキャンペーンを実施。今年8月、兵庫県赤十字血液センターから「日本赤十字社県支部長感謝状銀色色牌」が贈られた。

**J R神戸駅前での献血会場**

結局、この日受付終了の午後3時半までに1111人が献血を申し出て、71人から採血できた。

内訳は4000ミリリットル献血64人、2000ミリリットル献血7人だった。

同支部は一

## 小さなクライアント発掘を 折込組合と懇談会

日版協近畿地区本部執行役員ならびに折込委員会委員と近畿折込広告組合との平成23年度懇談会が11月9日大阪・北区の「神仙園」で開かれた。坂本政春副本部長の司会で、初めに松井恵昭副本部長が9月に開かれた第28回全国折込広告大阪大会で招かれたことについて、ただくとあいさつ。続いて折込組合の山雅之理事長（朝日オリビエ大坂）が、「折込の広は新聞に挟み読むもの」に届けられるところに価値がある。販売店と顧客に手を携え、折込の増に何の頑張っている」と抱負を語った。懇親宴に移り折込委員会委員と近畿折込広告組合との平成23年度懇談会が11月9日大阪・北区の「神仙園」で開かれた。

### 近畿・地域別最低賃金

平成23年度改定最低賃金が出そろいました。  
近畿地区本部管内は下記の通りです。

(労働環境委員会)

| 府県名 | 最低賃金額(円) | 発効年月日     |
|-----|----------|-----------|
| 滋 賀 | 7 0 9    | 23年10月20日 |
| 京 都 | 7 5 1    | 23年10月16日 |
| 大 阪 | 7 8 6    | 23年 9月30日 |
| 兵 庫 | 7 3 9    | 23年10月 1日 |
| 奈 良 | 6 9 3    | 23年10月 7日 |
| 和歌山 | 6 8 5    | 23年10月13日 |

坂本副部長が「明けな  
い夜はないといわれる。  
われわれ業界にもきつと  
明るい朝が来ることを信  
じて頑張ろう」と締めく  
くり散会した。

大阪・平野会が総会

大阪市平野区内の新聞販売店で組織する平野会（後藤次郎会長・朝日）は11月16日「市立市民交

流センター」ひらので、約40人が参加して総会を開き正常化の早期達成を全会一致で確認した。

初めに後藤会長が挨拶で、正常化の現状につい

て「温度差がある。68ルールの順守に向け努力してほしい」と強調

来賓の挨拶で代表社長の森隆一委員（朝日社）が新聞公取協の組織を明しながら「現状を是しなければ販売店経営成り立たない。是非話合って公正な競争をお

近畿地区本部

| 11月の活動                                                     |                                                   |
|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 11月2日(水) 第7回<br>近畿・理事会、支部長会<br>大阪・北区「ガーデニング<br>テイク」大阪会館出席。 | 員会、折込連絡会議<br>務局、三枝委員長ら10<br>出席。                   |
| 同日 専務理事会                                                   | 同日 近畿折込<br>告組各の懇談会、大阪<br>北区、「神仙閣」、松<br>本部長ら17人出席。 |
| 11月7日(月) 第9回<br>事務局<br>松井本部長ら43人出席。                        | 11月16日(水) 広報<br>員会事務局、藤田委<br>長ら9人出席。              |
| 11月17日(木) 大阪<br>関西五日会との懇談会<br>新聞協会大阪事務所、松                  | 11月17日(木) 大阪<br>北部・富田二日会交通                        |

来年8月までに正常化

北兵庫支部が親睦会



あいさつする渋谷支部長

日版協北兵庫支部（淡  
合義支部長）の平成23  
年度年末親睦会が11月  
日、朝来市和田山の和  
山ホテルで会員29人が  
席、近畿地区本部から  
井憲昭部長3人を  
賓に招いて開かれた。

あいさつする淡支部長

最初に公計の同会  
初めに淡支部長があ  
さつに立ち、「東日本  
震災のなかあつて、  
例のボウリング大会を

|            |             |             |             |             |             |             |          |            |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------|------------|
| 20         | 田           | 出           | 松           | 来           | い           | 大           | 恒        | 中          |
| 図っていたみたい」と | 正常化への取り組みを要 | 請するとともに、「交通 | 労働災害防止のためヘル | メットと安全ベストの着 | 用を必ず励行して頂きた | い」と業務中の交通事故 | 防止を喚起した。 | だ、是非正常化を達成 |
|            |             |             |             |             | 続いて松井本部長があ  | いさつで「業界は不透明 |          |            |

は11月16日「市市民交  
流センター」のら」で、  
約40人が参加して総会を  
開き正常化の早期達成を  
全会一致で確認した。  
初めに後藤会長が挨拶  
で、正常化の現状につい

来賓の挨拶で代表幹  
の森隆一委員（朝日社  
が新聞取組協の組織を  
明しながら「現状を是  
しなければ販売店経営  
成り立たない。是非話  
合って公正な競争をお

井本部長ら11人出席。  
11月9日（水）折込  
委員会、折込連絡会議

近畿地区本部

11月の活動

「かもしれない」という予測意識を  
富田二日会、交通安全講習会

富田二日会、交通安全講習会

日販協大阪府北部支部傘下の「富田二日会」は11月17日、高槻市富田町の「富田ふれあい文化セ

「ンター」で第26回交通安全講習会を開いた。会員の交通安全意識を高めるため毎年、高槻交通安全名による表彰状をいた

あいさつする丹生所長

協会の協力を得て実施した  
 ておの所長、従業員ら70  
 人が出席した。  
 初めに交通安全映画「ド  
 ライレコーダーの証言」  
 が上映され、続いて出田  
 隆太世話人、朝日（の）司  
 会で、まず販売所長を代  
 表し毎日新聞出版所所  
 の丹生勝所長が「われわ  
 れ富士一日会は6月21日、  
 毎朝夕の配達時に約3

の台のバックと自転車車が  
を駆け巡っているが、皆さ  
ん、ちょっとした心が  
けで事故は防げると、指  
摘し④交差点の一旦停  
止⑤スピードの出し過ぎ  
⑥右折時の後方確認  
の励行を改めて訴えた。

続いて藤田誠、高規警  
署交通総務係長が全国  
の交通事故発生状況な  
を報告するとともに「こ  
かも知れない」という  
意識を働き、交通安全  
を未然に防ぐでほしい  
と呼び掛けた。

その後、大阪府交通  
安全協会の青島雄雄主任  
師による安全講習が行  
れた。

「どうも、お久しぶりです。お元気ですか。お話を聞くと、システムを起えるの、結構大変な仕事ですね。システムを起えるの、結構大変な仕事ですね。システムを起えるの、結構大変な仕事ですね。」

|                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                        |                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| <p>近畿・理事會、支部長會<br/>大阪北区「ガーデンシ<br/>ティック」大阪會議室。<br/>松井本部長、42日出席。</p> <p>同日 事務理事會<br/>事務局<br/>11月7日(月) 第9回<br/>開西五日会との懇談會<br/>新聞協會大阪事務所。松</p> | <p>11月2日(水) 第7回<br/>出席。</p> <p>同日 近畿折込<br/>報告会の懇談會 大阪<br/>北区、「神仙閣」。松<br/>本部長ら17人出席。</p> <p>11月16日(水) 広報<br/>委員會。藤田委<br/>長ら9人出席。</p> <p>11月17日(木) 大阪<br/>北部・富田二日會交通</p> | <p>新居 三村委員長(右)</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|

[illegible]